

# みぞくちミニ新聞

発行元  
みぞくち

購読無料  
毎月発行

## 何でも大切にするものですね

### 創作活動の挑戦

1月、生活グループの創作活動は、ペットボトルのキヤップ（ふた）を利用した作品。ふたをどうやって作品にするのだろうか。日に日に形が見えてきた。どうやら厚紙にふたを貼っていくようだ。

まだまだ形が見えない。1月末、その全貌が明らかになった。要するにふたを使った貼り絵だ。題材は、吉備路の五重塔、赤鬼の面、

優しそうな青鬼だ。ペットボトルのふただけでこれらを描くには、ふたは何個必要だっただろう。何より、それだけの量まとまった色が良くあったと感心。実はこれも日々の積み重ねの賜物。ペットボトルのリサイクル作業で出るふたを辛抱に集めていた。何でも大切にするものですね。

今その貼り絵は、みぞくち食堂の壁に貼ってある。立体感もあって迫力があがる。遠目で見ると素晴らしい作品だ。近くによると、「coca cola」「PEPSI」「KIRIN」「NESCAFE」「ASAHI」「SUNTRY」等々。色んな商品名が目飛び込む。これも味である。この力作、2月いっぱい展示中。みぞくちへお立ち寄りの際には、ぜひご鑑賞を。

## あついあいつインフルエンザ

昨年末、「あついあいつにご用心」と原稿を書いた。1月、恐れていたあいつとの遭遇があった。1月末の時点で、職員3名、利用者の方2名、いずれも単独での遭遇。事業所の中でまん延するには至っていない。

しかし、油断大敵。あいつは今どこにでも隠れている。いつ顔を出してもおかしくない。

巷では猛威を振るい多くの県であいつの警報が出ている。現在も学級閉鎖や学年閉鎖が後を絶たない。

ところで、吉備路学園では利用者の皆さんは誰一人としてあいつに遭遇していない。良かった。

みぞくちでもあいつとの遭遇はごめんだ。このままこの時期を乗り越えていきたい。

## 帰ってきたフルーツネット

7月の西日本豪雨災害の記憶はまだ生々しい。真備地域もたくさんの人たちの力で復興が進んでいる。

みぞくちの就労グループが作業を頂いている、フルーツネットの会社も甚大な浸水被害にあった。就労の皆さんも心から早期の復旧を願っていた。

1月中旬、待ちに待ったフルーツネット作業が戻った。

てきた。フルーツネットの会社もまだ万全ではないようだが、みぞくちにも作業材料を提供して頂いている。感謝。

就労の皆さんも久しぶりのフルーツネットにやる気満々。手慣れた手つきで作業をこなす。みぞくちの就労作業も、少しずつこれまでの日常を取り戻している。

### 要精密検査

1月になって、何かと重宝ものの「軽トラック」の調子が悪い。どうもエンジン調子が不安定になるらしい。人間でいうところの不整脈。心筋梗塞にならないうちに、自動車修理工場にドック入り。精密検査中。たいしたことになるねば良いが少々不安。

普段は軍手・フルーツネットの納品から公園掃除のゴミ集め、はたまたゴミ処理場へのゴミ運搬と、なかなかの働き者である。すでに15万キロ以上を走破した老体ではある。が、まだまだ現役で働いてもらわないと困る。みぞくちのある意味「一員」として、これからも大切にしていきたい。